☆それぞれの「学び方」



「学び方」って言うけど、みんな同じじゃないの?何が違うの?

自分の学習スタイル*1をチェックしてみましょう!

自分が当てはまる所にチェックしてください。当てはまった項目数が多いところが、自分の「学び方」である場合があります。*あくまでも参考です。

タイプ A	
	静かなところで勉強するのが好き。
	何回も詳しく書いて覚える方だ。
	文章をじっくり読んで内容を理解するのが好き。
	見直しはしっかりする。
	ノートはきっちりと書き、分かりやすいと言われる。
タイプ B	
	音声学習で英単語などを効果的に覚えられる方だ。
	本を読むより、セミナーに出席した方が理解できる。
	初対面の人は、顔より話した内容をよく覚えている。
	メールより電話が好き。
	電化製品の使い方は、説明書を読むより、人に教えてもらった方が覚えられる。
タイプ C	
	体を動かしながらの方が、暗記できる。
	音楽やラジオを聞きながら勉強するのが好き。
	音楽を聴くと、自然に体が動く。
	なんでも自分でやってみないと気がすまない。
	電化製品など、説明書はよく読まず、直接動かしてみる。 💎 📞
参考:高山恵子・品川裕香 (2006). 「LD・ADHD・アスペルガー症候群 気になる子がぐんぐん伸びる授業	
チェックしたら、近くの人と見合ってみましょう!	

*学習スタイルについては、様々な視点から考えることができ、このページで紹介しているのは、 あくまでも一例です。

【どのタイプに多くチェックがつきましたか?】

チェックが多くついたタイプは、次のような特徴があると言われています。

*あくまでも参考です。

タイプ A→視覚型

目で見て情報を理解した り覚えたりするのが得意

支援方法例

- □簡単な言葉で簡潔に、ゆっ くり、はっきり伝える。
- □絵や図、見本を示して伝 える。
- □手本を見せる。

タイプ B→聴覚型

耳で聞いて情報を理解し たり覚えたりするのが得意

支援方法例

- □言葉で説明を加える。
- □一つずつ順番に話す。
- □覚えることは、しっかりと│□具体物を使用する。 意味づけをする。

タイプ C→体得型

実際に体を動かして理解し たり覚えたりするのが得意

支援方法例

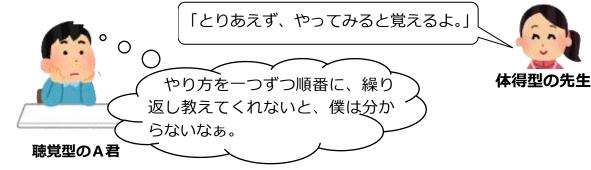
- □簡単な言葉で、分かりやす く伝える。
- □手本を見せ体験させてみ る。

参考:高山恵子・品川裕香(2006).「LD・ADHD・アスペルガー症候群 気になる子がぐんぐん伸びる授業」



同じ質問項目でも、タイプがいろいろと分かれたと思います。それだけ、 人によって学び方が違うことをまず認識することが大切です。

【自分の学び方を相手に求めてしまった失敗例から考える】



A君が力を最大限に発揮できるのは、どのような学び方でしょうか。



教師が、自分の成功体験(学び方)が良いと思って、相手に合わない学び方 で働きかけてしまうことがあります。児童生徒にとって、学び方を選ぶことが でき、自分なりの方法を使ってアプローチし、考えることができる授業^{* 2}が 大切です。

参考:青木清(1986). 「脳と行動―ニューエソロジーー」

*2:詳しい実践例は☆Ⅱ-2☆⑧『「学び方」を選べる学習の実践例』をご覧ください。